

養育費が減らされる

公益社団法人家庭問題情報センター 渡辺 浩子

圭子さん（四十歳、介護士）は長男剛君（中三）の親権者となり一緒に生活しています。明さん（四十三歳、調理師）とは六年前、協議離婚し、月五万円の養育費、月一回の面会交流が公正証書で取り決められました。今回、明さんが養育費減額の調停を申し立てたので、困った圭子さんは相談に訪れました。

圭（圭子） 「再婚して子どもが生まれ、後妻の連れ子も養子にしたので生活が苦しい。養育費を三万円に減らして欲しい」と明は連絡してきました。

自分の息子の養育費を削って他人の子の面倒を見るなんて…そんな勝手な言い分は認められるのですか。

カ（カウンセラー） 養子の扶養義務者は養父ですから、赤ちゃんと養子が加わると明さんが扶養義務を負う子は三人になります。剛君一人だった離婚当時とは事情が変わったので、養育費を決め直したいという主張は理由ありと認められるかもしれません。

圭 赤ちゃんは仕方ないとしても、養子縁組はしなくてもいいはずですよ。勝手に養子縁組して、何の発言権もない剛にしわ寄せだけが来るなんて、納得できません。「剛の養育費を減らすのではなく、養子の実父から養育費をもらったらどうなの」と突っぱねましたが、明は「養子にした以上は俺の責任だ。フリーターで稼ぎが少ない奴か

らもらえるか」と言うのです。

実の息子への責任はどうする気なのでしょう。後妻に頼りがいのある男だと見られたいだけなのです。本当に腹がたちます。

カ 養子も実子も同じ権利を持ちますし、養子の福祉も考えなくてはならないのですが、一方的にしわ寄せを押し付けられるのは許せないという貴女の腹立ちもよく分かります。

再婚や養子縁組で事情が変わったとしても、剛君への影響はできる限り減らしたいですね。

圭 剛はサッカーが得意で成績も良く、サッカーで有名な私立高校に進学を希望しています。希望高に行かせてあげたい。お金がかかる一方なので私は精一杯働いています。でも、これ以上稼ぐのは難しい。

養育費を当てにして高校進学後の生活設計を立てていたのでショックです。自分の生活を守ることがばかり考えている明を許せません。

カ まだ三万円に減額と決まった訳ではありません。調停での話し合いで養育費の額を決め直すのですから、剛君の希望や高校進学後の生活設計などを明さんに伝えて働きかけてみたらどうですか。調停委員も剛君のために助言してくれるでしょう。

圭 調停に出席する時間があればその分稼ごたいですよ。出席しないとどうなりますか。

力 欠席が続くと調停は不成立になり、審判に移行します。裁判官は双方の収入と算定表に基づいて審判することが多いようです。扶養する子が三人に増えていることから、養育費は減額の可能性が高いでしょう。

減額の幅をできるだけ抑えるためにも、調停で明さんと話し合ったほうがいいのではないのでしょうか。明さんが納得すれば、ご自分の生活を再検討して、切りつめる余地がないか、後妻さんの協力は得られないかなど具体的に考え出すかもしれません。高校入学時の特別出費をどう分担するかについてもこの際話し合うべきでしょう。

圭 剛君のために踏ん張ってください。

圭 こんな父親なのに剛は会うのを楽しみにしています。養子のこと弟みたいだと可愛がっているらしい。何だか剛の気持ちに分からなくなつて…踏ん張ることができなくなりそうです。

力 剛君のために頑張ってきた貴女を思えば、明さんにもつと反発してもいいのにね。

圭 そうなのです。確かに剛は幼い頃から明とサッカーをするのが大好きでした。浮気をしたり借金を作ったりして私には酷い夫でしたが、剛から父親を奪うのは可哀想と

思つて月一回の面会交流を認めたのです。

そんな私の気持ちも分からずに、「お父さんも精一杯だから仕方ないよ。僕が奨学金をもらえるように頑張るからさ」などと明の味方みたいなことを言つて…。私一人が分からず屋という変な立場になつてい

力 お話を伺いながら、剛君はお母さんの大

変さもお父さんの大変さもきちんと理解しているな、その上でしっかり自分に何ができるのか考えていると私は感じました。

面会交流を続ける中で剛君は明さんとのつながりを肌で感じる事ができたのでしょうか。だからこそ、健気な考えが出てきたように思えます。

圭 そうかもしれません。

実は私の両親も離婚しました。私は父親つ子でしたが、父に会いたいと母には言えませんでした。成人したら会いに行こうと思つていたのですが、その前に父は病死しました。お葬式の時、もう取り返しがつかないとはつきり分かつて本当に悲しかった。

そのことがあつたので目をつぶつて面会交流を認めたのです。剛の話をしながら不意に昔のことを思い出しました。

力 貴女が味わたつた悲しさは剛君には無縁ですよ。養子さんとのつながりも作つてしま

うなんて、すごいではありませんか。養育費が減る分は自分が努力して奨学金をもらつて補おうという積極的な気持ちも素晴らしい。明さんにも話しているのではないかしら。

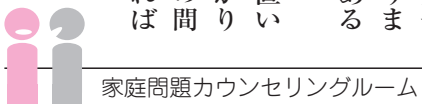
圭 明が剛に愛情を持っていることは認め

ず。
離婚当時に比べれば、剛も成長したし私も仕事に自信がつかってきました。私も頑張るから明にも頑張つて欲しい。そんな気持ちで話し合えば、出口が見えるかもしれません。調停に出席して踏ん張つてみます。

* * *

最近、「連れ子を養子にしたからという理由で、養育費の減額を請求されて困つています」という相談が多くなっています。養子にした側から見れば、実子も養子も可愛い我が子には変わらないのですが、実子の将来を考えると複雑なものがあります。養育費は大切な教育資金でもあるのです。

当事者は、実子の将来を念頭に置いて、お互いの事情を説明し、しっかりと話し合う必要があります。親と子の間にしこりを残さないようにしなければなりません。本当は、心のつながりが一番大事なのかもしれません。



家庭問題カウンセリングルーム